

- 食品・美術工芸品・毛皮・皮革・動植物等の乾燥や保温等の特殊な用途には使用しないでください。品質低下等の原因になります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
- 至近距離で顔に照射しないでください。ヤケドやケガ、目を傷める原因となります。

【電気ファンヒーター】ご使用上の注意

>>>

【警告】

- アース(接地)工事は必ず行ってください。工事は電気工事士の有資格者に依頼してください。アース線はガス管・水道管・電話のアース線・避雷針等には接続しないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。故障・火災の原因になり大変危険です。
- 停電発生時は、本機の電源スイッチをONにしたまま放置しないでください。電気が回復したとき発熱も開始され、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 可燃性ガス・揮発性の液体・危険物の側や保管場所では絶対使用しないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- 燃えやすいものを本体の近くに置いたり、燃えやすいものの側で使用しないでください。火災、事故の原因となります。
- 本機は床置専用です。その他の方法で使用しないでください。火災、事故の原因となります。
- 本機は水平で凹凸の無い安定した場所に設置してください。
- 機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 常に人がいる場所でご使用ください。離れるときには必ず電源をOFFにしてください。

【注意】

- 周辺温度-10℃~20℃の範囲外では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。
- 本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
- 使用中、送風口やガードには手等の身体の一部を近づけないでください。ヤケドやケガの原因となります。
- 本体背面と壁との間は50cm以上離してご使用ください。火災や変形・変色等の原因となります。
- 送風口を塞がないでください。故障や事故の原因となり大変危険です。
- 衣類などの乾燥用としては使用しないでください。火災の原因となります。
- 長時間同じ部位を暖めないでください。比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ部位を暖めていると、低温ヤケドの恐れがあります。

【小型電気暖房器具】ご使用上の注意

>>>

【警告】

- サーモスタット(自動温度調整器)が働いて加熱を停止しているときは、吹き出し口から温風は出ていませんが、通電状態です(電源ランプ点灯)。使用されていない場合、スイッチの切り忘れにご注意ください。
- 外出時、就寝時やその場を離れるときなど、使用されないときは必ずスイッチを「切」にし、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 乳幼児や体の不自由な方には付添いなしで使用しないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 就寝中は使用しないでください。
- 使用中、使用直後しばらくは吹き出し口が熱くなっています。触らないようにご注意ください。

次のような症状があった場合は、事故防止のため、すみやかに販売店に点検をご依頼ください。

- ▶異音や異臭 ▶電源コードや電源プラグが異常に熱い
- ▶点火しても炎や温風が安定しない ▶操作部が異常に熱い
- ▶スポットヒーターの吹出口から頻繁に炎が飛び出す
- ▶赤外線ヒーターの放熱板から炎または黒炎が出る
- ▶赤外線ヒーターの放熱板に変形や亀裂がある
- ▶異常燃焼したり、油たれがある ▶その他の異常や故障がある

【工場扇・扇風機】ご使用上の注意

>>>

- 長年ご使用の工場扇では、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化による発煙、発火の恐れがあります。ご使用前に必ずご確認ください。次のような症状がある場合には、すぐに使用を中止し、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - ・スイッチを入れても羽根が回らない
 - ・羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則
 - ・回転するときに異常な音がする
 - ・モーター部分が異常に熱くなる、コゲかい臭いがする
- ご使用になる前に、羽根やガードはしっかり取り付けられているか、ガードが変形して羽根に接触していないかチェックしてください。

- 電源コードが折れ曲がったり、破損していないか、時々チェックしてください。
- 運転中はガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。特に小さなお子様はご注意ください。
- ご使用にならないときは差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的な点検を心がけてください。
- 長期間コンセントに差し込みプラグを差し込んだままにすると、トラッキング現象※を起こして火災の原因になります。また絶縁劣化による感電事故や漏電火災が発生する危険があります。
 - (※トラッキング現象:差し込みプラグとコンセントの隙間にたまったホコリが湿気を帯びると、火花が出ます。これを長い時間放っておくと、プラグの刃と刃の間に電気が流れて発熱し、発火する現象のこと。)
- 改造は火災・感電・ケガの恐れがありますので、絶対にしないでください。
- 分解・修理は火災・感電・ケガの恐れがありますので、修理技術者以外の人は修理しないでください。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご使用中に、回転停止・異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用をやめスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 運転中は本機に近づかず、ネクタイ・手袋・カーテン等が巻き込まれないように注意してください。特に小さなお子様はご注意ください。
- 清掃・点検の時はスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。濡れた手でのコンセントの抜き差しは感電の恐れがありますのでしないでください。
- 差し込みプラグの刃および、刃の取付面に付着したほこりは、火災の恐れとなりますので、きれいに拭き取ってください。
- 製品には、水や、洗剤等をかけたり、吹き付けたりすると漏電による、火災、感電の恐れがありますのでしないでください。

【スポットクーラー】ご使用上の注意

>>>

- SAC-6500、SAC-7500は18℃以上43℃以下の環境でお使いください。
- フィルターのお掃除はこまめに行ってください。フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。
- 濡れた手で差し込みプラグやスイッチ、配線等に触れないでください。
- 水をかけないでください。
- 配線工事は、有資格者が電気設備技術基準や内線規定に従って、確実に行ってください。
- アースは必ず取り付けてください。
- 灯油・ガソリン・シンナーなど引火性のものや、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛や化学物質・ガス・蒸気等の近くでは使用しないでください。
- 横倒しにしないでください。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
- 火気に近づけないでください。
- 冷風ダクトや、排熱ファンの中へ物を入れたり排熱口をふさがないでください。
- 補修・修理は純正部品を使用してください。
- 屋外・屋内での水のかかる場所では使用しないでください。
- 温度の高い(45℃以上)ところでは、使用や設置をしないでください。
- 換気の行えない場所では使用しないでください。

【エアーツール】ご使用上の注意

>>>

- キズのあるエアースーツや破裂の恐れのあるエアースーツは危険ですので、ご使用にならないでください。
- ご使用前には焼きつき防止のため、必ず、エアーツールオイルを数滴注油してください。
- 定められた使用圧力内で、ご使用ください。
- ご使用後は、必ず手入れ、注油、水抜き等のメンテナンスを行ってください。

【エンジン商品】ご使用上の注意

>>>

- 燃料は必ず無鉛レギュラーガソリンを使用してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。
- 屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所でも使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- エンジンは水平で安定した場所に設置してください。
- 側に物のある所に設置する場合には、火災防止のため最低1m以上離してください。1m以上の間隔が取れない場所では使用しないでください。
- 使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。
- 本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。

ご使用前には必ず、それぞれの取扱説明書をお読みいただき、使用方法を理解したうえで、ご使用ください。